News Release

Electronics for the Future

2023年10月20日

ローム株式会社

ロマン派の巨人たちの名作を小山実稚恵がピアノで響かせる

「Ken Sato Memorial Concert Vol.3」を開催

ローム株式会社（本社：京都市）が支援する公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション（京都市）は、2024年1月13日(土)に「Ken Sato Memorial Concert Vol.3」を開催いたします。

ローム株式会社の創業者であり、ローム ミュージック ファンデーションを設立した佐藤研一郎（1931年～2020年）は、経営者でありながら、文化人としても音楽文化の普及と発展に尽力。自身の愛する音楽を通じて社会に貢献するため、数多くの音楽文化支援活動を行ってきました。そして、故人の意志を末永く紡いでいこうと2022年1月よりスタートしたのが「Ken Sato Memorial Concert」です。「お客様にお喜びいただけること」を大切にしていた故人らしく、ローム シアター京都のステージを彩り豊かな花で飾り、一流の音楽家の演奏をお届けいたします。

【コンセプト】

かつてピアニストを目指していた佐藤研一郎の音楽への想いを形にするために、世界で活躍する一流の音楽家によるコンサートを毎年1月にローム シアター京都にて開催し、音楽文化の普及に貢献する。

佐藤研一郎（Ken Sato）

【Ken Sato Memorial Concert Vol.3について】

圧倒的存在感をもつ日本を代表するピアニスト小山実稚恵が、ロマン派の巨匠であるブラームス、シューベルト、ショパンが遺した名作をお届けします。小山実稚恵の円熟味あふれる叙情豊かな演奏でお楽しみください。

【公演概要】

公演名	：	**ROHM CLASSIC SPECIAL** **Ken Sato Memorial Concert Vol.3** **～小山実稚恵が奏でるロマン派の巨人たち～**
日程	：	2024 年 1 月 13 日（土） 14：00 開演（13：20 開場）
会場	：	ロームシアター京都　サウスホール（京都市左京区岡崎最勝寺町 13）
出演者	：	小山実稚恵（ピアノ）
曲目	：	ブラームス：3 つの間奏曲 op.117 より 第 1 番、第 2 番 シューベルト：即興曲 op.90 ショパン：ノクターン 第 2 番 変ホ長調 op.9-2　他
入場料	：	S 席（1 階）4,000 円 ／ A 席（2 階）3,000 円（全席指定・消費税込）
チケット販売	：	2023 年 10 月 21 日（土） otonowa（075-252-8255）他 にて販売開始
主催	：	公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション
協賛	：	ローム株式会社

※本コンサートについてオンライン配信の予定はございません。

【小山実稚恵コメント】

@Hideki Otsuka

ピアノは生きています。

あらゆる感情をピアノの中に秘めて、静かに呼吸をしながら、ピアニストが音を紡ぎ出す瞬間を待っています。作曲家が楽譜に託した命を演奏家がピアノに吹き込んだ時、ピアノは歌い始める。そして音楽が響くのです。

今回のコンサートはブラームスの後期の間奏曲、シューベルトの即興曲、そして佐藤研一郎氏が愛して止まなかったショパンのノクターン第2番、ソナタ第3番のプログラムです。

タイトルは、～ロマン派の巨人たち～。 巨人と言っても、ブラームスはおそらく 163 ㎝ぐらい、シューベルトは 155cm、ショパンは 約167cm。決して大柄ではないこの 3 人の作曲家が、なぜロマン派の巨人なのか。それは、彼らの音楽がずば抜けて美しいだけでなく、人々の心を動かし続けるからです。

深くあたたかく、思いやりに溢れるブラームスの音楽。静謐さの中にたぎる熱い息遣いが、心の奥を揺さぶります。シューベルトの音楽はとにかく正直。やさしくて、やるせなくて、そのあまりの美しさに演奏しながら胸が苦しくなるほどです。ショパンの音楽は、すべの瞬間が磨き込まれたダイヤモンドのような極限美です。優しさの中に決然とした気概が宿る。別格の天才です。

創業者の佐藤研一郎氏が持ち続けられた音楽への想いを受け継ぎ、「Ken Sato Memorial Concert」で〝想い〟を継承されてゆくローム ミュージック ファンデーションの皆様。〝想い〟が時代を越えて受け継がれていくことの素晴らしさを、今感じております。

今回のカラー＜オレンジ色＞に想いを託しながら、3 人の作曲家の色、ブラームスの深いオレンジ色、シューベルトのあたたかなオレンジ色、ショパンの高貴なオレンジ色、それぞれを意識して演奏したいと思っております。

【会場を美しいお花で装飾】

「Ken Sato Memorial Concert」は美しいお花で会場を飾り、お客様をお迎えいたします。

Ken Sato Memorial Concert Vol.2　会場の様子

以上

Ken Sato Memorial Concert Vol.3

ROHM CLASSIC SPECIAL

～小山実稚恵が奏でるロマン派の巨人たち～

2024 1.13 |土| 14:00 開演（13:20 開場）

ローム シアター京都 | サウスホール |

S席（1階）4,000円 / A席（2階）3,000円
（全席指定・消費税込）

【チケットお取り扱い】

- ローム シアター京都チケットカウンター　075-746-3201
- 京都コンサートホールチケットカウンター　075-711-3231
- チケットぴあ　https://t.pia.jp/ ［Pコード:248-969］
- イープラス　https://eplus.jp/otonowa/
- otonowa　075-252-8255
- エラート音楽事務所　075-751-0617

※電話予約のみ

《お問合せ》otonowa　075-252-8255

※未就学児のご入場はご遠慮ください。
※都合により内容等変更になる場合がございます。予めご了承ください。

主催: 公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション
協賛: ローム株式会社

KEN SATO MEMORIAL CONCERT VOL.3

© Hideki Otsuka

Program

● 第1部

ブラームス　：3つの間奏曲 op.117より
第1番 変ホ長調 op.117-1
第2番 変ロ短調 op.117-2

シューベルト：即興曲 op.90（全4曲）
第1番 ハ短調 op.90-1
第2番 変ホ長調 op.90-2
第3番 変ト長調 op.90-3
第4番 変イ短調 op.90-4

● 第2部

ショパン　：ノクターン 第2番 変ホ長調 op.9-2
ピアノ・ソナタ 第3番 ロ短調 op.58

Ken Sato Memorial Concert

ROHM CLASSIC SPECIAL Vol.3

小山実稚恵が奏でるロマン派の巨人たち

経営者でありながら、文化人としても音楽文化の普及と発展に尽力した佐藤研一郎。自身の愛する音楽を通じて社会に貢献するため、数多くの音楽文化支援活動を行ってきた故人の功績を称え、美しいお花に囲まれたステージで一流の音楽家によるコンサートをお届けします。

ロマン派の巨匠、ブラームス、シューベルト、ショパンが遺した名作を、小山実稚恵の円熟味あふれる叙情豊かな演奏でお楽しみください。

佐藤研一郎が所有していたピアノ

佐藤研一郎と音楽 <1931年～2020年>

Ken Sato

半導体、総合電子部品メーカーであるローム株式会社の創業者、佐藤研一郎は、ヴァイオリニストの父を持ち幼いころから音楽に親しみ自然に音楽を志すようになりました。ピアニストになる夢を持ち続け研鑽を積んでいましたが、コンクールで思うような結果を出せず、その夢を諦めた佐藤研一郎は、ラジオ修理のアルバイトから興味をもった抵抗器の研究に没頭するようになります。そして自宅の風呂場で開発した「平行リード型固定抵抗器」の実用新案を基に、1958年に東洋電具製作所（ローム株式会社の前身）を創立し、音楽とは異なる道を歩み始めました。

会社を成長させる一方で、音楽を愛する気持ちを持ち続けた佐藤研一郎は、「音楽文化の支援活動」でその想いを形にしていきます。1965年『目で見る音楽史』出版に始まる様々な音楽文化支援活動を行い、1991年にこれらの活動を継続的かつ安定的に実施するために佐藤研一郎とローム株式会社が中心となって、音楽文化支援を行う『財団法人 ローム ミュージック ファンデーション』（現在は「公益財団法人」）を設立しました。

ローム ミュージック ファンデーションの理事長として、音楽文化の普及と発展のために様々な事業を行いましたが、特に若い音楽家の支援に力を入れていました。それは、自身が「音楽家になることの苦労」を一番理解していたからでした。同時に、「音楽っていうのは、一人だけで上手に弾けるようになるわけじゃない。チケットを買って聴きに来てくれる人がいるから、舞台で弾こうって気にもなる。支援の目的として聴衆の輪をひろげるのも大事なこと。」と、多くの人に音楽を親しんでもらいたいとも願っていました。その想いはいつまでも色褪せることなく、ローム ミュージック ファンデーションの理念に受け継がれ、現在も多くの音楽家への支援、そして音楽を親しんでいただく機会を増やすことに繋がっています。

ピアニスト 小山実稚恵

Michie Koyama

圧倒的存在感をもつ日本を代表するピアニスト。チャイコフスキー国際コンクール、ショパン国際ピアノコンクール入賞以来、常に第一線で活躍し続けている。協奏曲のレパートリーは60曲を超え、国内外の主要オーケストラや指揮者からの信頼も厚く、モスクワ放送響、ベルリン響、ロイヤル・フィル、BBC響、ワルシャワ・フィル、モントリオール響などとも共演している。16年度 芸術選奨文部科学大臣賞を受賞した『12年間・24回リサイタルシリーズ』や『ベートーヴェン、そして…』が、その演奏と企画性で高く評価された。2022年からはサントリーホール・シリーズ、第Iシーズン Concerto＜以心伝心＞を25年まで開催している。ショパン、チャイコフスキー、ロン＝ティボーなど国際音楽コンクールの審査員も務める。また、東日本大震災以降は、被災地で演奏を行い、仙台では被災地活動の一環として自ら企画立案し『こどもの夢ひろば"ボレロ"』を開催。CDは、ソニーと専属契約を結び、33枚目となる最新CD『モノローグ』まで7作連続して「レコード芸術」特選盤に選ばれる。著書として『点と魂』、平野昭氏との共著『ベートーヴェンとピアノ』を出版している。05年度 文化庁芸術祭大賞、13年度 東燃ゼネラル音楽賞本賞、15年度 文化庁芸術祭優秀賞受賞。17年度 紫綬褒章受章。

オフィシャル・ホームページ　https://www.sonymusic.co.jp/artist/MichieKoyama/

音楽を育み、豊かな文化を。

ローム ミュージック ファンデーションは音楽文化の発展・普及のためにこれからの音楽界を担う若い音楽家の育成や、音楽をより身近にするため多くのコンサートを開催・支援することで聴衆の拡大を目指しより良い社会づくりに貢献していきます。

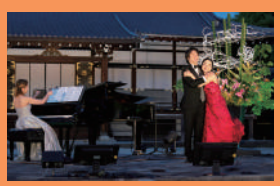
音楽文化の発展 ～音楽家の育成～

奨学援助

ローム ミュージック セミナー

音楽文化の普及 ～聴衆の拡大～

ローム ミュージック フェスティバル


Kyoto×Classics（配信公演）

ローム ミュージック ファンデーション Webサイト

その他の活動など事業の詳細はこちら→